

研究区分	教員特別研究推進 地域振興
------	---------------

研究テーマ	戦時・戦後期における啓蒙運動とメディア				
研究組織	代表者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	森山 優
	研究分担者	所属・職名	国際関係学部・准教授	氏名	鈴木 さやか
		所属・職名	静岡県近代史研究会・会員	氏名	北原 勤
		所属・職名	静岡県近代史研究会・会員等	氏名	村瀬 隆彦ほか2名
	発表者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	森山 優

講演題目	本学図書館所蔵「浦上史料」紙芝居について
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>本研究は、昭和初期から戦後にかけて爆発的に流行した紙芝居を、メディア史、政治史、地域史等のさまざまな観点から再検討し、新たな位置づけを試みるものである。</p> <p>今年度は、昨年度に計画していた掛川（浦上喜平氏の地元）における展示会とシンポジウムを3月19日に開催することができた（大日本報徳社仰徳館）。プログラムは</p> <p>第一部 浦上史料の紹介 北原勤「浦上喜平という人」 森山優「浦上史料の概要」 紙芝居上演『女の歌』 静岡県立大学羽衣つたえ隊</p> <p>第二部 紙芝居研究の現状と展望 基調講演 大串潤児「国策紙芝居を演じた人びと-戦時民衆史への手がかりを求めて」 （信州大学人文学部教授 神奈川大学非文字資料研究センター客員研究員）</p> <p>討論 であり、事前に『女性の歌』の画を担当した油野誠一氏御遺族から回顧談が寄せられ、上演にあたった羽衣つたえ隊の学生や観覧者の時代背景理解に資することができた</p> <p>基調講演や報告に対しても好意的意見が寄せられた（アンケート実施）。また、実際に浦上喜平氏の紙芝居を観覧した地元の方からも貴重な証言が得られた</p> <p>なお、今年度も朝日新聞データベース『聞蔵』（静岡地方版も閲覧可能）を利用した調査も成果をあげた。1943年初頭には浦上喜平氏がボランティア活動で表彰されていること、各地での紙芝居上演の報道等、多くのデータを収集できた</p>